

平成19年度

## 小地域懇談会

### 高齢者と共に生きる 地域づくりに向けて

平成19年度の小地域懇談会ではテーマを「高齢者の人権」に設定し、認知症の介護問題を入り口にして話し合っていました。

日本が高齢化社会に移行するにつれて高齢者を取りまく状況も厳しくなってきました。誰もが避けて通れない高齢者問題。この高齢者の人権を尊重しながら、心豊かで安心・安全な大山町や地域を創るキッカケとなるような小地域懇談会にご参加いただきました。

#### 座談会で出た主な意見など

##### 介護経験をお持ちの方から

- ・ 家族に認知症になった者がいないと分からない。自分は経験したので重大なことだと分かった。
- ・ 身内のことだからこそ認知症のことを隠したいと思う。しかし、オープンにして周囲に助けを求めることが大事。
- ・ 認知症の予備知識を持ち症状を認め受け入れることが大切だ。イライラすることが減る。症状はさまざま。個人を認め知ろうと努力していかねばならない。
- ・ 独居老人は増えてきており地域でのケアも大切だ。
- ・ 高齢者の状況を把握しておくことが大事だ。プライバシーを大切

にしながらすぐに対応できる体制づくりを考える必要がある。

- ・ 現代社会における核家族化、プライバシー重視の風潮が独居老人の孤立化を深刻なものにしているのではないか。高齢者とともに活動できる企画が大切では。

##### 意見交換のなかから

- ・ 介護は女性という考えが強いと思う。もっと男性も参加していかねばれないと思う。
- ・ Aさんは夫の協力があり、家庭で介護に取り組んで恵まれていると感じた。

- ・ 高齢者の立場に立った考え方や対応が大切である。高齢者にもできることを大切にして、周りの人が邪魔者扱いするのは人権を否定

することになるのではないか。

- ・ 介護されている方やお寄りなごの自尊心を守らなければならぬ。
- ・ 高齢者の意見を尊重して勝手に片付けたりせずに、使いやすいようにしてあげ自分の意思を大切に尊重する。
- ・ 大事なものは自己決定権を尊重することだと思ふ。
- ・ 本人や家族の意見や思いに対することだと思ふ。
- ・ 本人や家族の意見や思いに対することだと思ふ。
- ・ 区内の方の様子を知っていることはいいことだ。夜中に徘徊していることがあっても通報できるなど地域で連絡し合える。
- ・ 認知症の人の人権問題から相手を理解することで、いろいろな人権について偏見や誤解をなくすことが大切だ。

##### 今後の方向についての意見

- ・ 介護する側の考えを中心にした介護ではなく、介護される側のことを考えた介護が必要ではない

か。

- ・ 介護される人の自己決定権をいかに尊重できるかが大切で、日ごろから人権を意識した生活を心がけるようにしたい。
- ・ 介護に限らず日常生活のなかで人権問題を意識しながら生活することが大切では。
- ・ 地域で日ごろからふれあいの場を持つような取り組みが必要ではないか。
- ・ 高齢化社会を迎え行政も介護システムをしっかりと整備することが大切だ。
- ・ 人と人のつながりをどうしていくか。行動していくかが大切なことではないか。
- ・ 安心安全に暮らせる町づくり地域づくりのためにつながりを強めることが大切では。

最近のテレビとか新聞などで社会状況を見ると、日々いろいろな分野の人権問題が起こっています。平成20年度も小地域懇談会を開きます。ぜひご参加ください。

〔主催〕 大山町・大山町教育委員会・大山町人権・同和教育推進協議会  
 〔期間〕 平成19年10月22日～12月14日  
 〔対象〕 全町民